

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	災害活動中において水槽付きポンプ車の車上から転落した事例。
3. 体験した事例の中心的要素	積載資機材が並び足場の悪い水槽付きポンプ車上で、下の隊員に消火器を渡そうとした際にバランスを失い、道路上へ転落したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	車上でしゃがみ込むなど身体の重心を低く保ち、空いている手で車上の固定物を掴むなどの確保動作を怠ったこと。また、下で消火器を受け取った隊員も、車両後部のステップに上がるなどして、車上の隊員が無理な体勢をすることなく受け渡しができるような配慮が欠けたことによるものと思われる。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 21 年 5 月 3 日 午前 10 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：道路
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落、
7. 事例体験時の活動	救助現場活動初期、 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	資機材準備、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[19]歳、勤続年数[0]年、現場経験年数[0]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[47]歳、勤続年数[29]年、現場経験年数[29]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	B	消火器を下ろせと指示する。	
経過2	A	水槽付きポンプ車後部のステップを出し車両上部に登る。消火器を固定するストッパーを外し、消火器を下にいるBに手渡す。	
経過3	B	消火器を受け取り、現場の方に走って行く。	
経過4	A	消火器を渡した後、車両上部でバランスを崩し転落。	
経過5		以上。	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

危険情報を把握、予見できなかった。足元の安全が確保できていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

個人において、現場活動を行う際は最善の注意を払っての活動。周囲の状況を的確に判断し、落ち着いた活動。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

足場の悪い場所などでは、まず自分の身の安全の確保。

○指揮・情報伝達の対策について



消火器を消防車上部から受け渡す。



消火器を消防車上部から受け渡した後、バランスを崩す。



消防車上部でバランスを崩した後、道路上に着地した状態。

○事故事例:災害活動中において水槽付きポンプ車の車上から転落した事例。
 (同様の体験は、初めて体験した。)

(09J0077)

・発生日時 :平成21年5月3日 午前10時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		車長／消防士長 ・年齢 47 歳 ・勤続 29 年 ・現場 29 年 ・同様の活動:初めて	隊員／消防士 ・年齢 19 歳 ・勤続 0 年 ・現場 0 年 ・同様の活動:初めて	
出動指令 出動途上 現場到着	災害活動 道路上			救助現場
		現場到着 資機材準備 消火器を下ろせと指示	水槽付きポンプ車後部のステップを出し車両上部に上る 消火器を固定するストッパーを外す 消火器を渡す 消火器を渡した後、車両上部でバランスを崩し転落	水槽付きポンプ車上は積載資機材が並び足場が悪い 身体の重心を低く保ち、空いている手で車上の固定物を掴むなどの確保動作を怠った 下で受け取った隊員も、車両後部のステップに上がるなどして、車上の隊員が無理な体勢をすることなく受け渡しができるような配慮が欠けた
活動初期		消火器を受け取り、現場の方へ走って行く		
活動降中期				

◎事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

- 直接的な原因: 行動の実行に問題があった。
- ・危険情報を把握、予見できなかった。
- ・足元の安全が確保できていなかった。
- ・他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

◎事故が起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
- ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- ・活動に対する経験が不足していた。
- (活動環境について)
- ・狭隘な場所であった。
- ・足元が躓いたり滑りやすかった。
- (指揮・管理について)
- ・隊員の連携が不十分だった。